

読書についてお聞きしました

日頃 お子さんとどのような読書をしていますか？

- 休日(雨の時)に時間があれば、市立図書館子どもと一緒に読書し、平日は夜寝る前に短編を1冊10～15分くらい母が読みきかせしています。(2年保護者)
- 子どもは自分の気持ちが向けば茶の間や子ども部屋でひとりで読むことが多いです。就寝前に読み聞かせのような形で本を読んであげるときもあります。(親の都合や時間が遅くなりできないことも多々ありますが、何とか続けたいと思っています。子どもが「読んで。おもしろかったよ。」と言う本は、学校から借りてきてもらったり、市立図書館から借りたりして私も読んで共通の話題にすることもあります。(4年保護者)

小学生の時期にどんな読書体験を期待しますか？

- 高学年になるにつれ、長編の物語、伝記なども読んでほしいと思います。(4年保護者)
- ジャンルを問わず、多くの本に触れ、「言葉」の意味の深さや想像力、表現力を養ってほしいと思います。(2年保護者)
- 興味の持てるものならばマンガでも雑誌でも新聞でも辞書でも、とにかく活字に親しむ時間を持つように声がけしています。その中で質の高いものを自分で発見し、自分にとっての一冊と出会えたらいいなと思います。(6年保護者)

わが家の読書体験

- 子どもたちはそれぞれに読書をしています。時間を見つけて、寝る前の10分間くらい、寝床で本を読んでいます。「バッテリー」I～VIは、もうほんとおもしろくてたまりませんでした。毎日のように子どもにこの興奮を語っていました。また～と言われても・・・。(6年保護者)
- 昨年のクリスマス、わが家の好んで読書をしない二人の子どもたちを見かねて、サンタクロースが本をプレゼントしてくれました。いつも私と与える本だと嫌々読む子どもたちが、サンタクロースからのプレゼントの本だと何回も読み返していました。そしてある日、その本を読みながら感動して涙を流している、普段はやんちゃで手をやいている息子の涙を見た時に、私は改めて本を読む大切さを感じさせられました。まだまだ心の成長をしてほしい今この時期にたくさんの本に触れ、本を読むことにより自分が経験していないこととも出会い、そのことに

ついて考える力を養ってくれればと願っています。

(1年保護者)

○ 大型の紙芝居で、読む役を決めてなりきりごっこをします。映画化された作品は最初に映画を見に行き、後で本を買い、読んでからDVDで日本語訳、英語訳を見ます。様々な作品を通じていろいろな物の見方を学んでほしいと思います。
(2年保護者)

○ わが家では常に本が手に届くところにあります。家族全員誰かが手の空いている人を見つけては子どもたちと本を読み、子どもたちも学校から借りてきた本を家族に読んでくれたりもします。

眠れない時、子守歌のように昔話や童話を読んでくれる祖母。

いろんな身近なことや興味のあることを一緒に調べてくれる祖父。

とにかく家族が楽しみながらいろんな本に出会い、いろんな世界が子どもたちに広がってくれたらうれしく思います。

また、今回遠足で行った市立図書館、ぜひまた家族でゆっくり行ってみたいと思います。

(3年保護者)

○ 幼稚園から低学年の頃に読んだ絵本を親子で一緒に声に出して読んだり、交互に読んだりするのも楽しかったです。
(4年保護者)

○ 二人の子どもがおりますが、長男が幼い頃は仕事をしておらず、時間の余裕がかなりあったため、毎日2～3冊ずつ読み聞かせておりました。その後、長男は本が大好きになり、ジャンルを問わず何でも手にとり読むようになりましたが、次男の時には仕事に追われ休みの日の1～2冊の読み聞かせになってしまいました。その後次男はなかなか自分から本を手にとろうとせず、小学校低学年時にはこのことに悩んでいたものです。しかし、四年生になった頃から少しずつ本を読むようになりました。私の中では「やったあ、チャンス」。次男が読書している姿をとにかくほめました。「すごいなあ。こんなに小さい字なのに全部読めるんだねえ。」と。そして「どんな本だったの?」と内容について聞いてみました。次男は「こうだよ。あだよ。」とどんなにおもしろい本だったかを話して聞かせてくれました。少しずつ本を読む時間が増えていくこの頃です。二人ともあの頃よりはだいぶ大きくなりました。最近では新聞の読み聞かせもだまってつきあってくれています。
(5年保護者)

□今回は学年1名の保護者の方にアンケート用紙をお渡しし、記入していただきました。

ますます本が好きな子どもが増えることを願っています

読書活動の輪をひろげていきましょう

図書室